Gateway to a Wealth of Scientific and Technology Information

わが国の科学技術情報の発信力強化のための取組策について

QS世界・アジアランキング セミナーin京都

独立行政法人 科学技術振興機構（JST）
知識基盤情報部
Japan Science and Technology Agency

科学技術振興機構（JST）のおもな活動

科学技術振興機構（JST）では、科学技術による国民の幸福で豊かな生活の実現をめざし、研究開発の戦略の検討、基礎研究の支援や成果の産業界へ橋渡し、そして研究を進めるにあたって必要となる“情報”や“人”に関するとりくみなど、さまざまな活動をおこなっています。

先進技術の創出
Creation of Advanced Technology

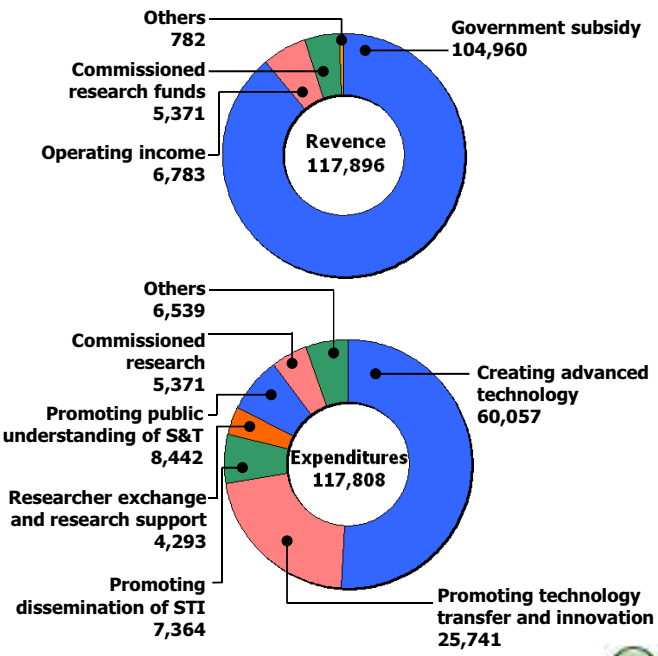
技術移転・イノベーションプログラム
Technology Transfer and Innovation Program

科学技術情報の発信・流通促進
Promoting Dissemination of Scientific and Technological Information

科学技術分野における国際協力の促進・支援
Promotion and Support of International Cooperation in Science and Technology Research

科学コミュニケーションの促進
Promoting Science Communication

Revenue and Expenditures in Fiscal Year 2011 (Estimate)
(millions of yen)



J-STAGE
科学技術(※)情報発信・流通総合システム

Largest Scientific and Technical Electronic Journal Platform in Japan

1999年サービス開始

国内発の論文誌1,700誌 (2.3 million articles)

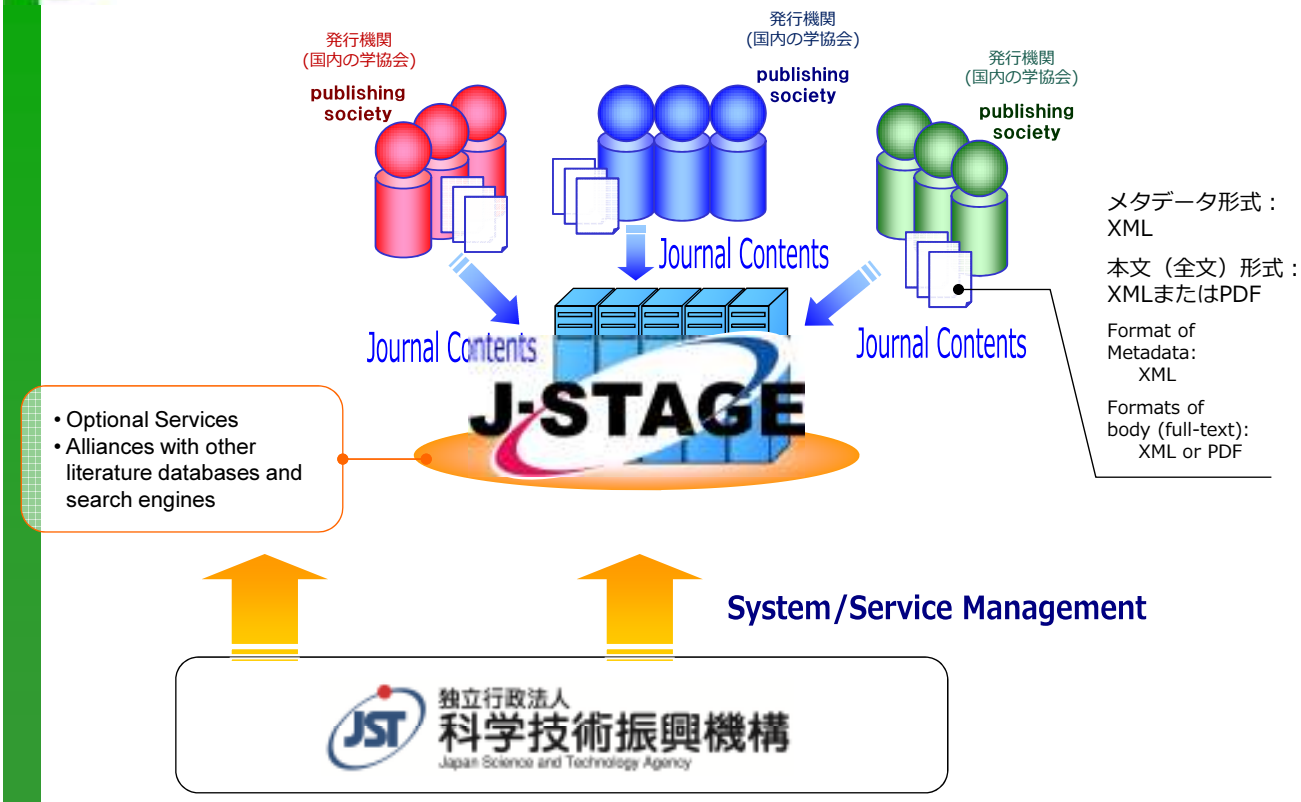
抄録まで全記事フリー公開

8割以上のタイトルが全文フリー公開

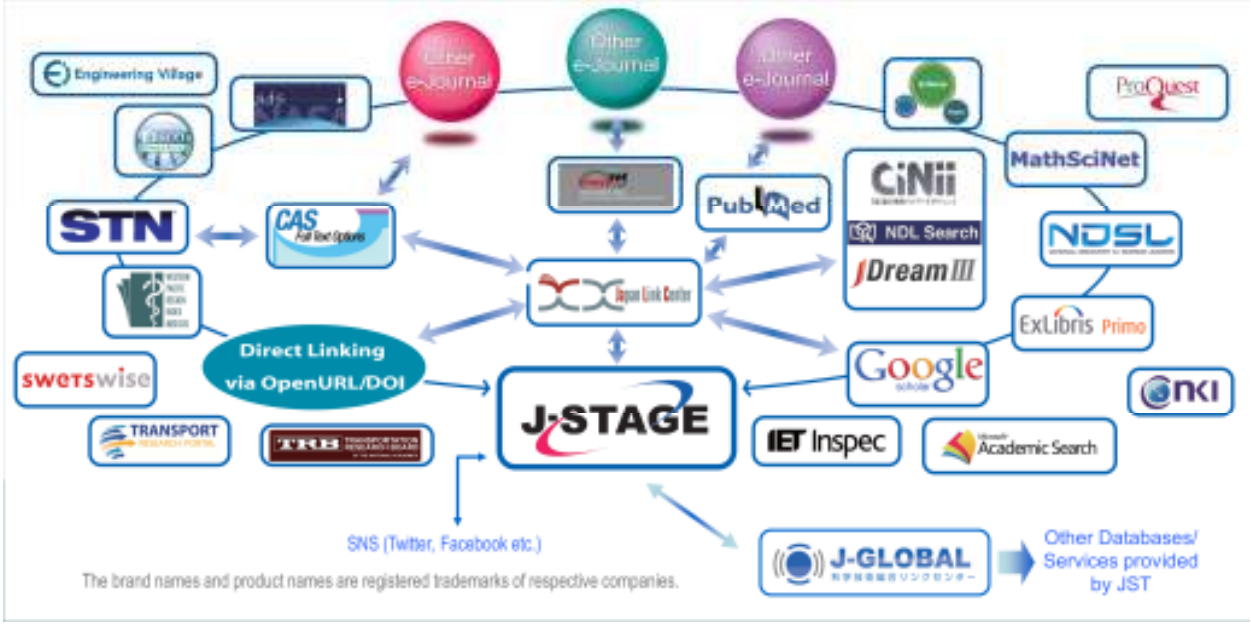
-Please read the access policy on the site before using contents on J-STAGE.

※人文・社会科学に関するものを含む。

J-STAGE -日本の研究成果を、日本のプラットフォームから-



内外の文献データベースや検索エンジンとの連携



J-STAGEのあゆみ

J-STAGE 1 (1999-2003)

- 1999年リリース
- 全文検索機能　Full-text search
- 電子付録機能　Electronic appendix publishing
- アクセス統計サービス　Access statistics service
- 引用文献リンク　Links to cited references
- 投稿審査システム　Submission and review system

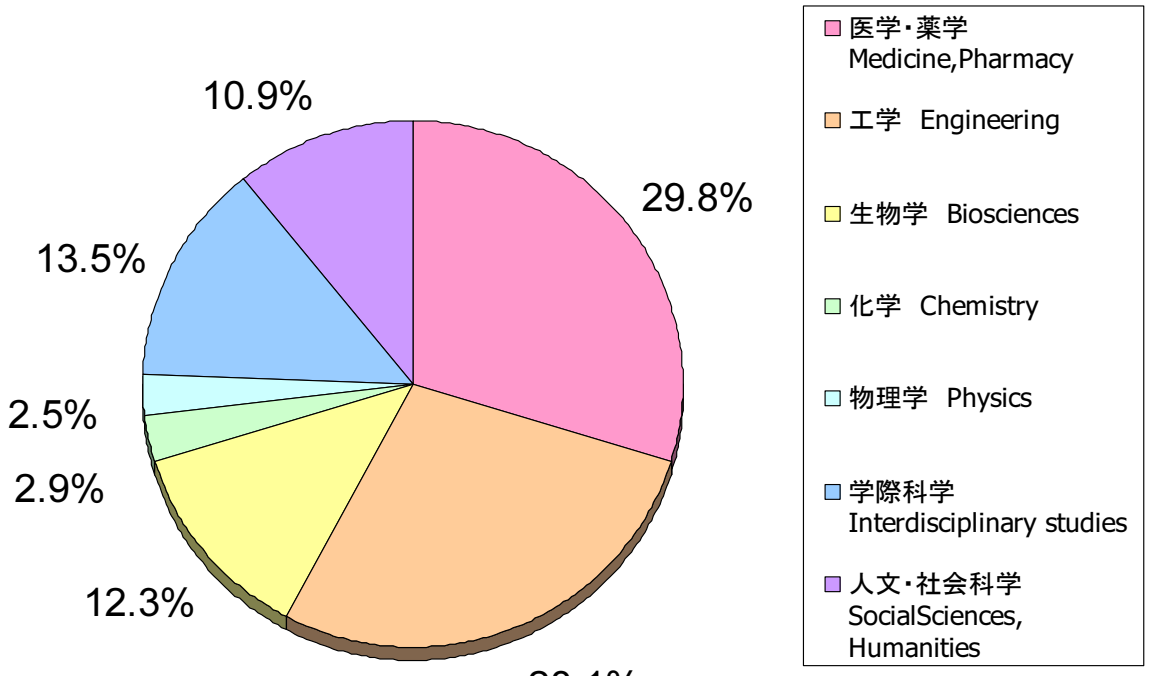
J-STAGE 2 (2003-2012)

- 2003年リリース
- COUNTER準拠アクセス統計　Access statistics system conforming to COUNTER standard
- 早期公開　Advance publication
- 論文一部売り機能　Pay per view (credit card payment)
- My J-STAGE (user-specific page)
- 投稿審査システムアップグレード
  Upgraded submission and review system

J-STAGE 3 (2012-)

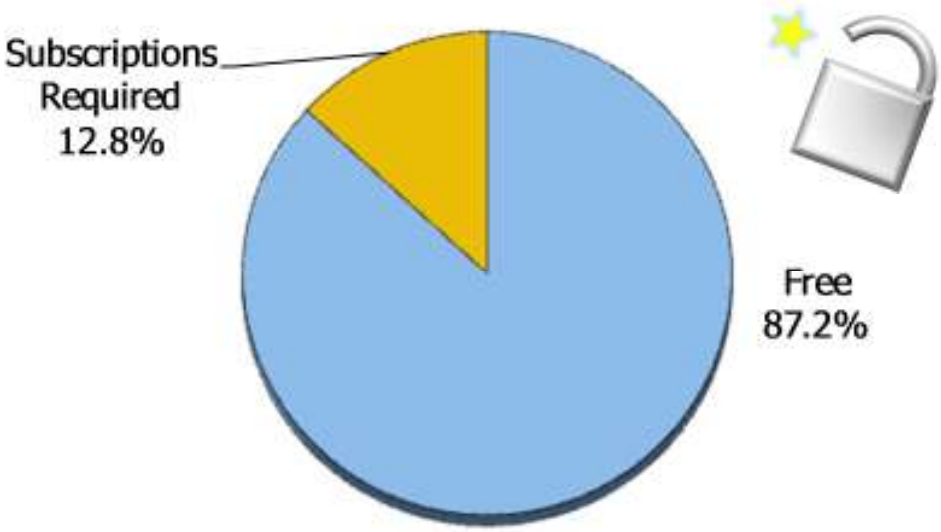
- 2012年リリース
- XML（JATS0.4）準拠　XML (JATS0.4) compliance
- OpenIDへの対応　OpenID compliance
- CrossCheckサービスサポート　Support for CrossCheck service
- SNS連携　Linking to SNS services
- 投稿審査システムアップグレード（ScholarOne Manuscripts, Editorial Manager）
  Upgraded submission and review system
  (ASP systems powered by ScholarOne Manuscripts, Editorial Manager)

J-STAGE登載誌 分野別割合



(2013年9月現在)
※カレント公開誌ベース

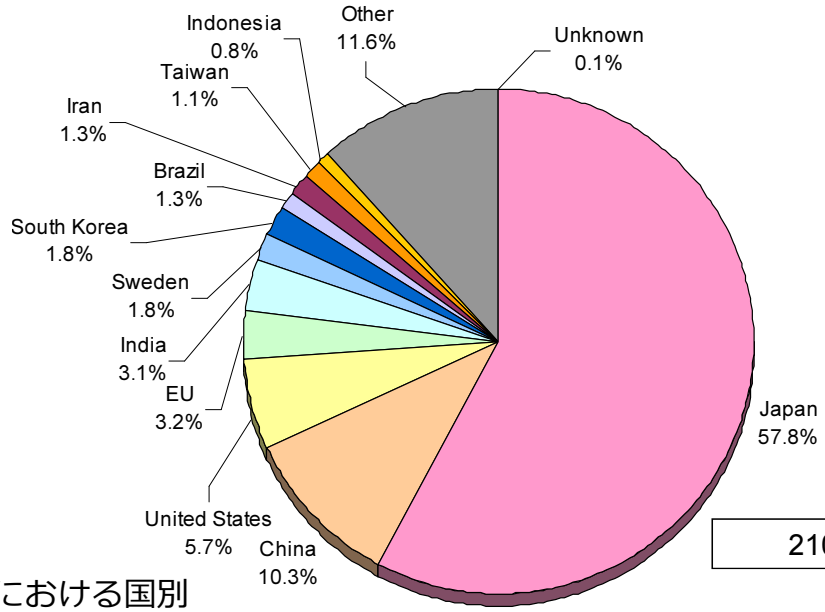
認証利用誌／フリー誌割合



(2014年3月末日現在)
※J-STAGE登載誌一覧データより

J-STAGEによる海外への論文情報発信・流通

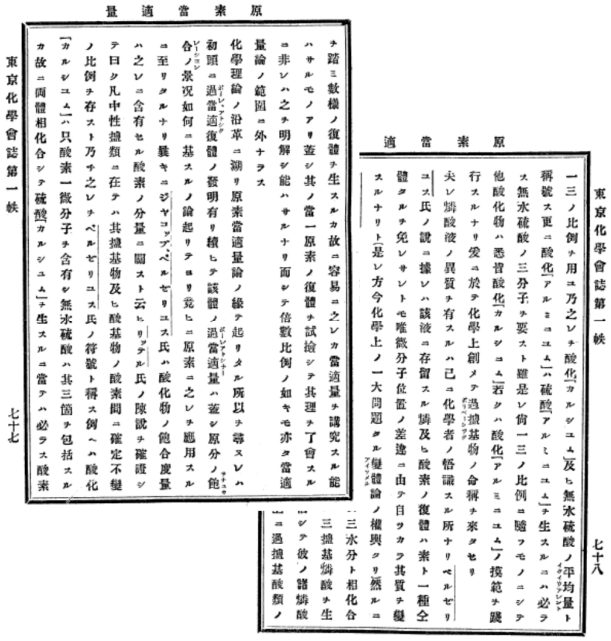
海外からの本文ダウンロード数：年間1000万件以上



210カ国／地域

2011年度における国別
本文(全文情報)ダウンロード

わが国の貴重な論文誌を創刊号から電子化・収録


原素當適量

東京化學會誌第一帙

七十七

原素當適

東京化學會誌第一帙

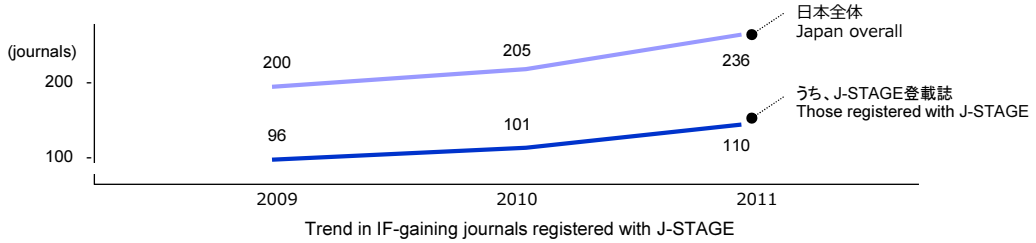
七十八

（例）
東京化學會誌
Vol. 1 (1880) P 75-91

http://dx.doi.org/10.1246/nikkashi1880.1.75

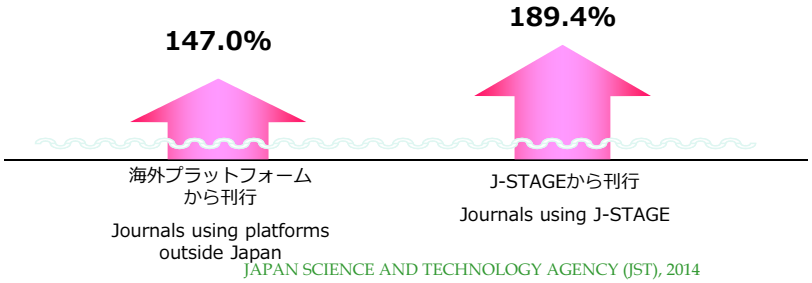
国内誌のインパクト向上に向けたとりくみ

- **インパクト・ファクター向上への寄与**
  Contribution to gaining Impact Factor (IF)
  - 2011年の国内IF誌236誌のうち、110誌がJ-STAGEから刊行
    Of 236 IF journals from Japan in 2011, 110 are published on J-STAGE



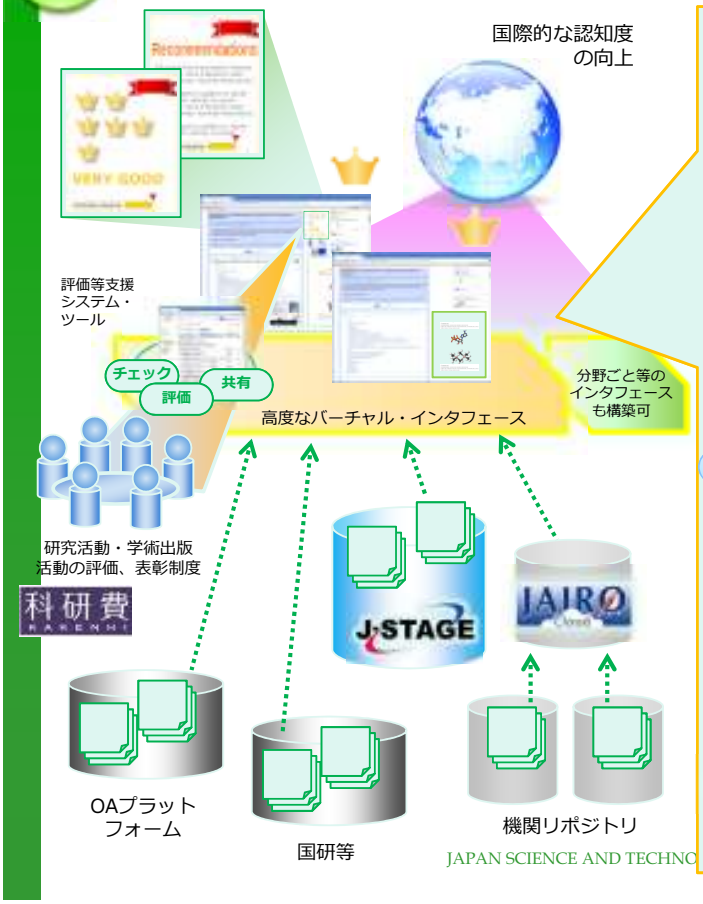
Trend in IF-gaining journals registered with J-STAGE

  - MEDLINE収載国内誌における、プラットフォーム別IFの増加率
    Growth in IF of Japanese journals in MEDLINE (2000-2009)



K. HAYASHI, T. KUROSAWA, M. MATSUDA. Analysis of publishing structure of Japanese medical journals indexed in MEDLINE and their impact. Johokanri. 2012, vol. 55, no. 6, p. 412.

商用サイトに匹敵するバーチャル・電子ジャーナルサイトの構築（検討中素案）

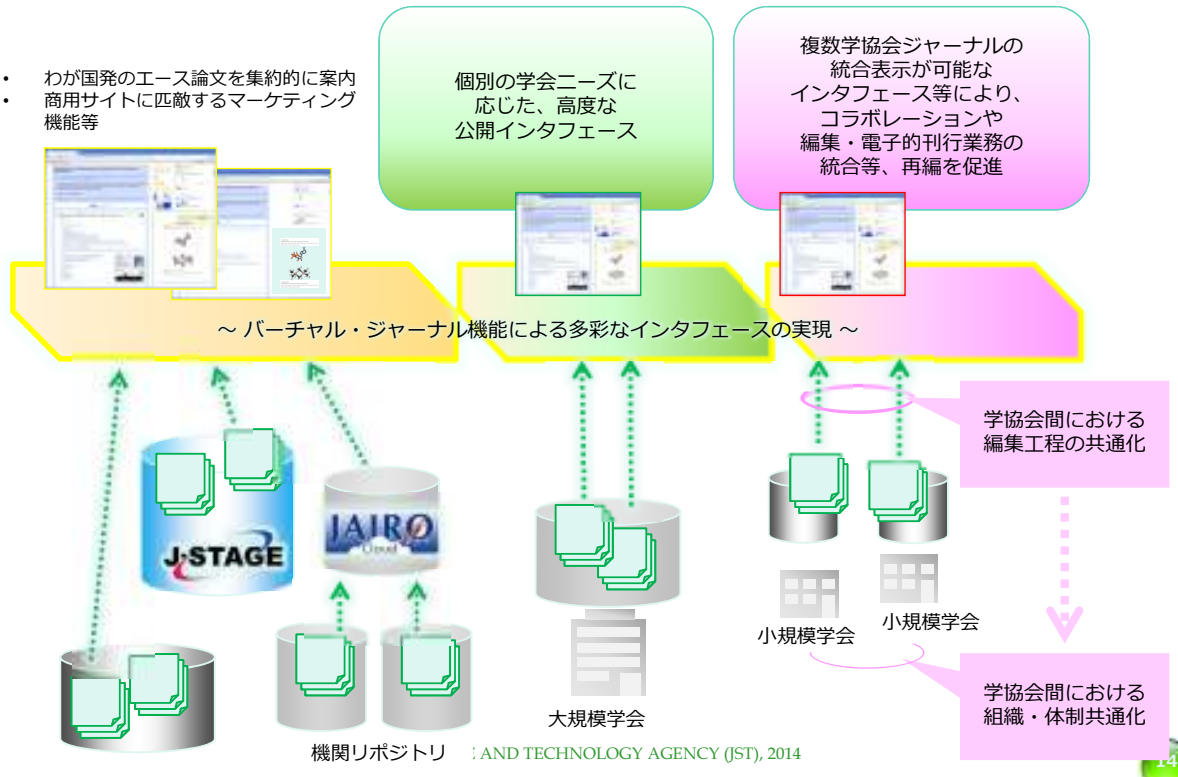


- **Webマーケティング機能**
  （アクセス分析、サイト動線分析、SEO）
- **閲覧者の志向に応じたリコメンド、カスタマイズ**
- **Editors Choiceやタイトル横断的なコンテンツ**

- **J-GLOBAL、researchmap、CiNii、日化辞、FMDB、科研DB等既存の情報資源を活用した関連情報の表示などリコメンド機能**
- **J-STAGEを含む、OA各サイトへの積極的誘導を実現するポータルサイト機能**
- **Altmetrics、SNS、文献管理ツール連携**
- **端末・閲覧環境に応じたインタフェース（マルチデバイス対応）**

商用サイトに匹敵するバーチャル・電子ジャーナルサイトの構築（検討中素案）

- バーチャル環境を利用し、多様な公開・流通ニーズに対応



商用サイトに匹敵するバーチャル・電子ジャーナルサイトの構築（検討中素案）

- **JSPS（日本学術振興会）、NII（国立情報学研究所）、JSTが連携した、我が国の科学技術情報発信力強化のための取組（素案）**
  - わが国発のエース論文を集約的に案内する、商用サイトに匹敵するマーケティング機能等を実装したバーチャルジャーナルサイトを構築する。
    - Webマーケティング機能
      - 被引用解析・アクセス解析（訪問者属性、サイト内動線等）レポート機能によるマーケティング戦略支援、SEO(サーチエンジン最適化)
      - 訪問者属性・志向に応じたリコメンド、カスタマイズ
    - 研究者情報、物質・化合物情報、ファンディング情報表示 等
    - デバイス（スマートフォン等）に応じた最適な表示を自動調整
    - SNS、Altmetrics、文献管理ツール等との連携
  - バーチャルジャーナルサイトの運用は、JSPS、NII、JSTの共同運営体制とする。
  - エース論文の評価・選定等においてはJSPSによる科研費の評価枠組み（国際情報発信強化、オープンアクセス支援）等と連動させる。
  - コンテンツ掲載にあたってはNIIによるJAIRO Cloud等と連携を強化する。

海外における同様の発信力強化施策（参考）

F1000 (FACULTY of 1000)
・約5,000名の研究者による、論文の評価・推薦サイト
・Faculty of 1000 Ltd. が運営（原則、有償提供）
・生命科学系が中心、約10,000記事の情報を収録
・評価者による星の数（1～3）で論文をランク付け

F5000
・中国国内の科学者による高レベルな業績を海外にプロモーションするためのナショナルプラットフォーム（ISTICが運営）
・中国語論文中心（英語・中国語のレビューを付加するなどしている）
・定量分析とレビュワーによる評価を総合し、約2,500記事を選定（拡充予定あり）
・Science Citation Indexの検索システムであるInCitesと連携

※一部、現行サービス仕様が変更されている場合もあります

（独自評価指標について）
・（例）上海交通大学による世界大学ランキング
（http://www.shanghairanking.com/）
※英国TIMES(Times Higher Education World University Rankings)等と並ぶ大学評価指標
※理工系の研究成果に重点を置いているのが特徴

バーチャルジャーナルサイトにおいて多彩な利用分析が可能となることで、わが国独自の論文評価指標を検討可能に

日本のすぐれた研究成果が正しく評価される指標を！

- わが国独自の研究成果を、可能な限りオープンな形で国際発信することで、日本のプレゼンスを確保し、世界の知的活動に貢献する
- 英文誌はもとより、和文誌についても、流通性を確保した上で、それらのインパクトや重要性を評価できる独自の指標を検討できないか